

JFMA FORUM 2013

「ともに考え、活動し、成長する博物館づくり」のための博物館マネジメント —(仮)三重県総合博物館の建設—



三重県環境生活部 新博物館整備推進PT

安藤 亨・田畑 衛



三重県立博物館(昭和28年(1953)6月26日開館)



現在の三重県立博物館(平成24年6月28日)

「三重の自然と歴史・文化」を育み、みなさんと「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざします



(1) 県総合文化センターや美術館と一体となった「文化ゾーン」

県総合文化センターや美術館との文化ゾーンの形成を意識し、配置や動線などに配慮した計画とします。

(2) 県立博物館にふさわしい「外観デザイン」

周囲の景観に配慮しながら、県立博物館にふさわしい落ち着きや、三重らしさを感じるデザインとします。

(3) 緑の環境を生かす「ミュージアムフィールド」

敷地内の緑の環境を生かすミュージアムフィールドを設けるとともに、環境保全の大切さが感じられる施設とします。

【鳥獣イメージバス】

新県立博物館建築工事(平成23年1月着工)



新県立博物館完成予想図(平成25年4月完成、平成26年春開館)

新県立博物館建設の経緯

1953年(S28) 県立博物館の開館

1993年(H5) センター博物館基本計画

* 1998(H10) センター博・公文書館計画白紙に

2005年(H17) 県立博物館整備に係る当面の方針

* 財政事情から博物館の建設は当面見送り、現博物館の改修と移動展示を先行実施することとなった。

2006年(H18) 暫定整備基本計画・耐震補強計画

* 精査の結果、改修に多額の費用がかかることが判明。

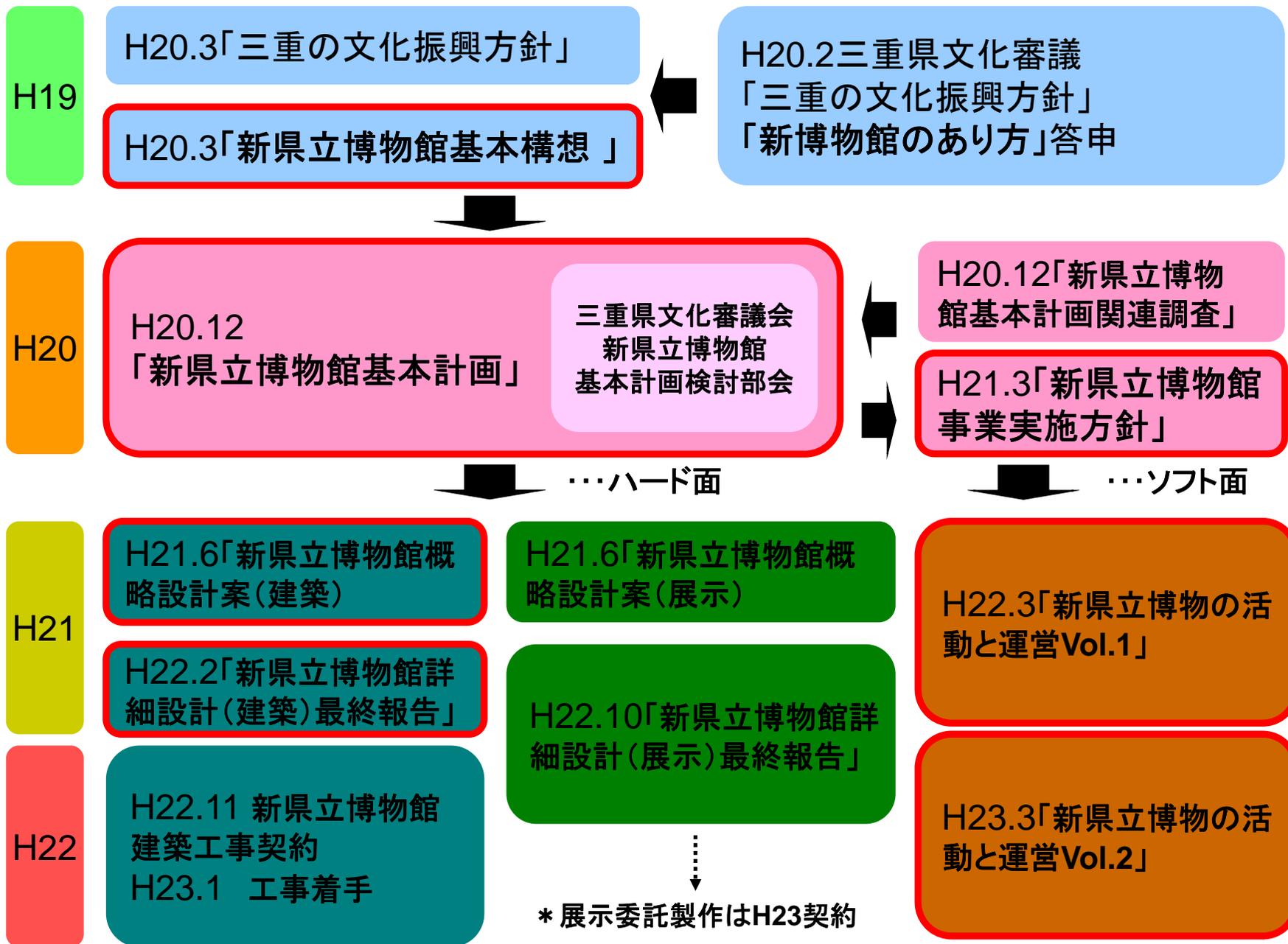
2007年(H19) 県立博物館展示室閉鎖

2008年(H20) 新博物館基本構想・基本計画・実施方針

2010年(H22) 新県立博物館 概略・詳細設計(建築・展示)

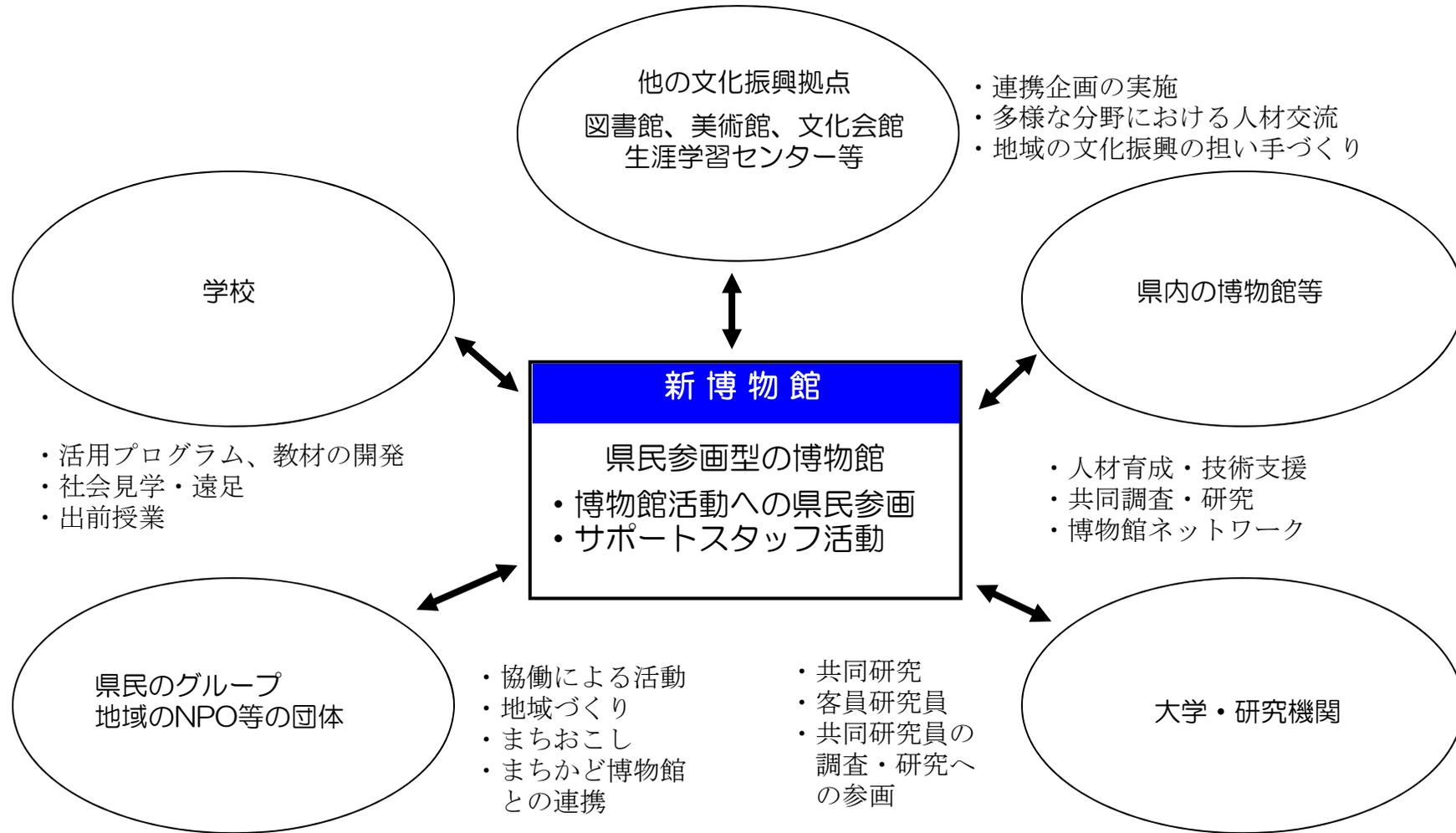
2011年(H23) 新県立博物館建築工事に着手

新県立博物館整備の経緯



新県立博物館基本構想から(H20. 3)

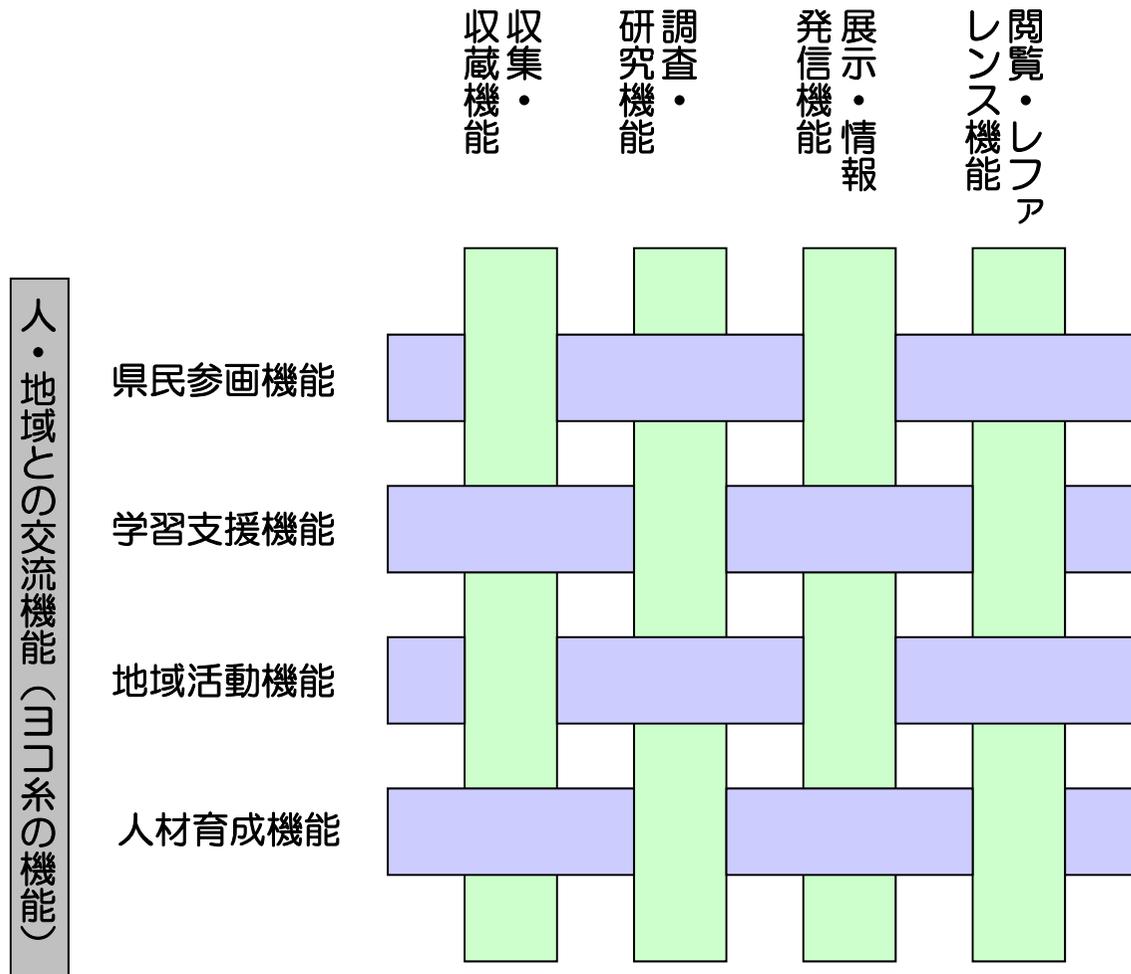
【新博物館 連携のイメージ図】



新県立博物館基本構想(H20. 3)

【博物館機能のタテ系とヨコ系の概念模式図】

博物館の基本的な機能（タテ系の機能）



1. 新博物館のテーマ

三重が持つ『多様性の力』

2. 新博物館の活動理念

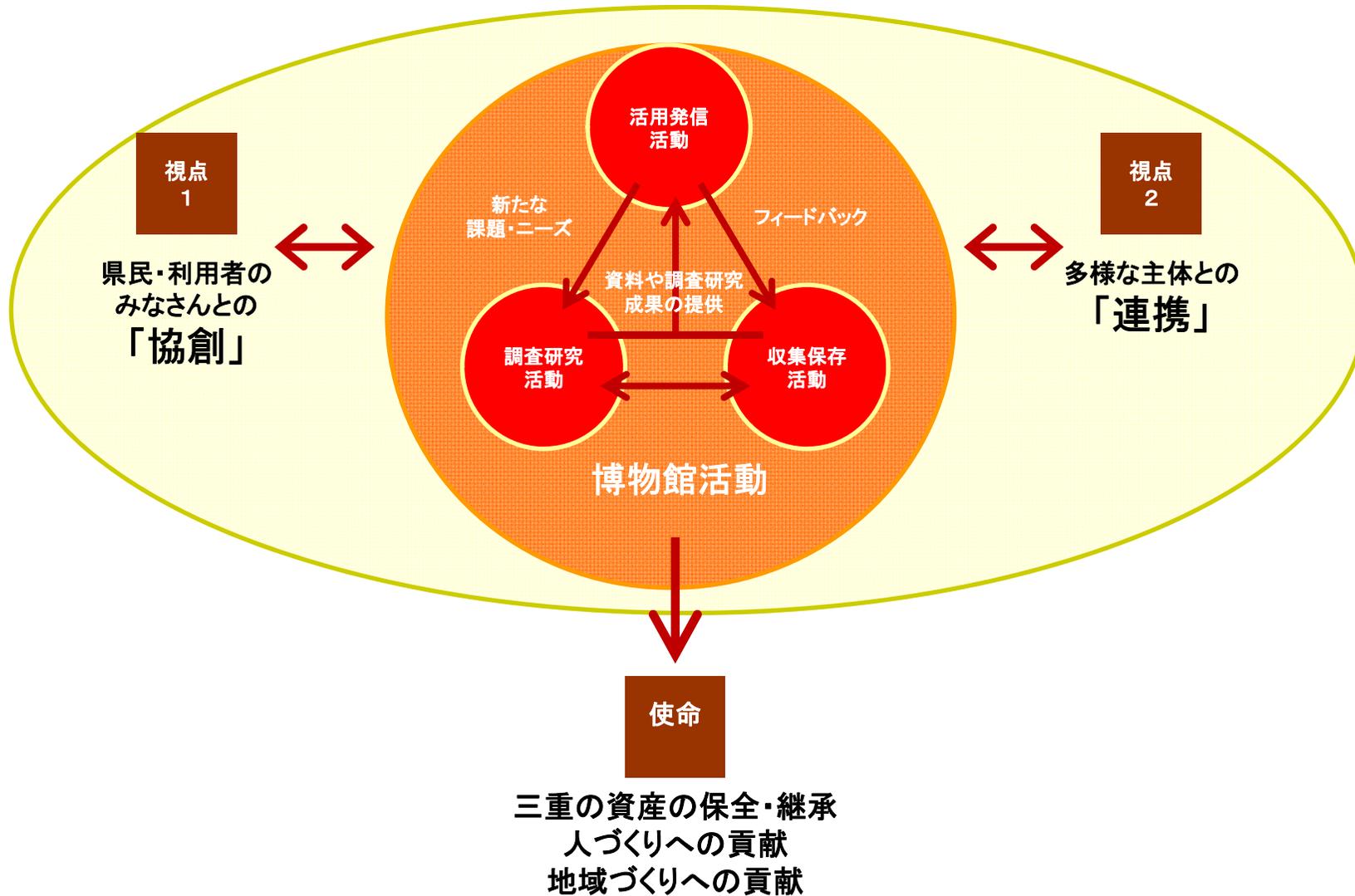
ともに考え、活動し、成長する博物館

3. 新博物館の使命

- ①三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代に生かす。
- ②学びと交流を通じて人づくりに貢献する。
- ③地域への愛着と誇りをはぐくみ、地域づくりに貢献する。

新県立博物館 基本計画(H20. 12)

新県立博物館の活動(2つの視点と3つの活動の連関図)



新県立博物館 事業実施方針(H21. 3)

○事業実施方針の基本的な考え方

1 事業の目標

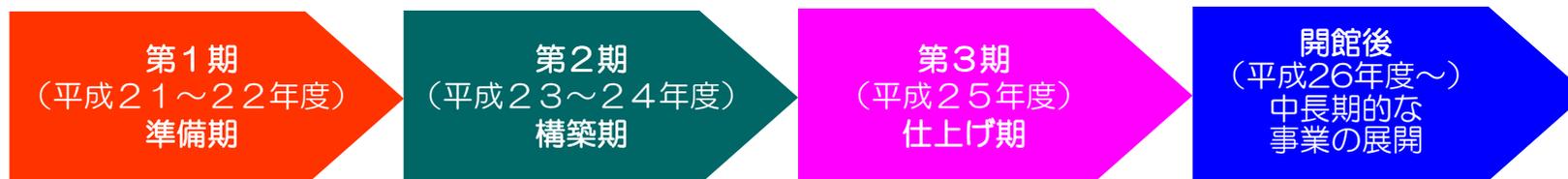
「ともに考え、活動し、成長する博物館」づくり

2 取組方針

事業目標に向けた事業実施方針の取組の4つの視点。

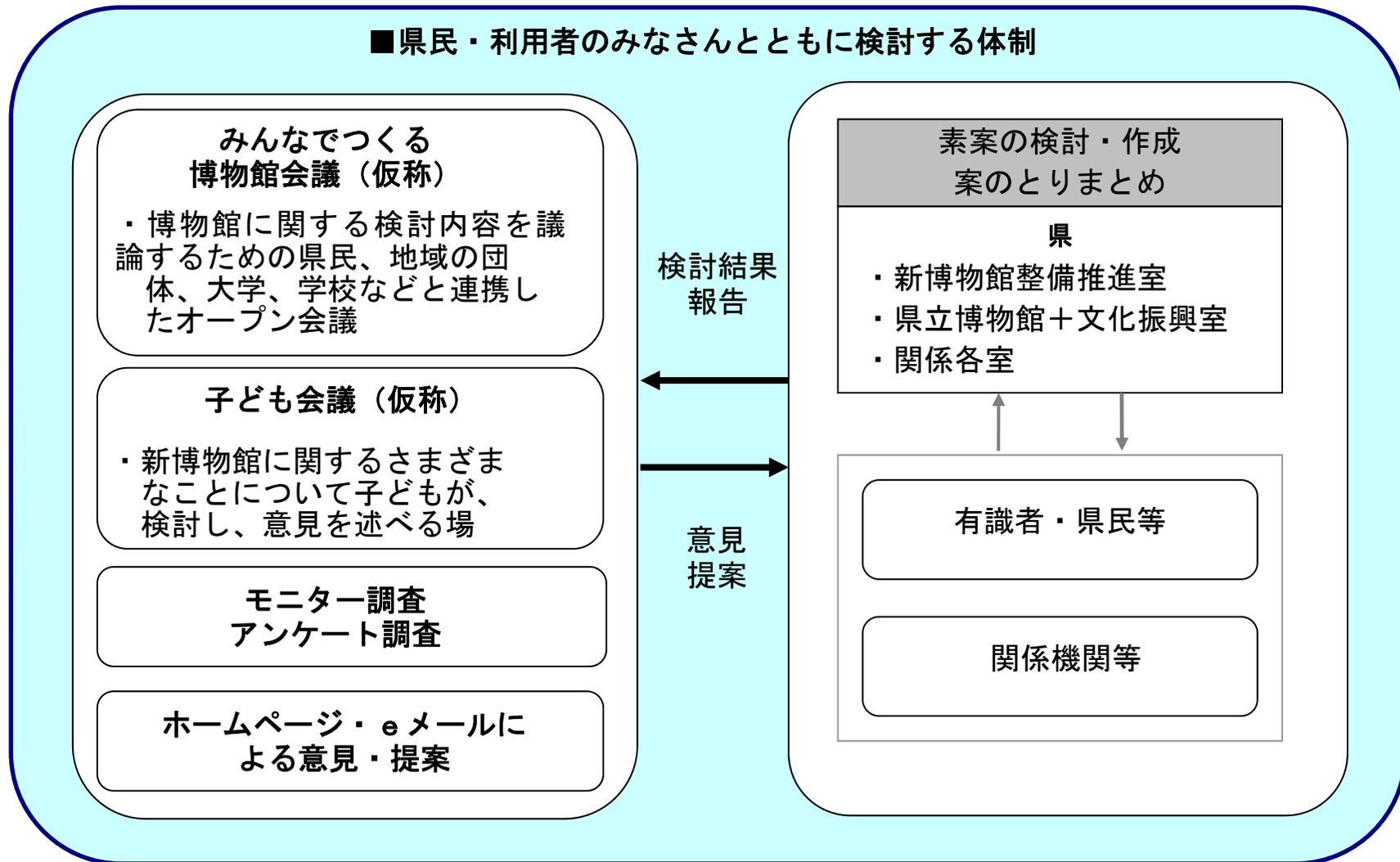
- (1)開館前から協創・連携による活動を展開する
- (2)既存の活動を拡充・発展させる方向で展開する
- (3)重点的取組テーマを設定して活動を展開する
- (4)ソフトの成果を施設づくりに生かす

3 全体的なスケジュール



新県立博物館 事業実施方針(H21. 3)

【推進にあたっての体制のイメージ】



新県立博物館 事業実施方針(H21. 3)

■県民・利用者みなさんとともに進める試行・実践の場

【取組テーマ1】
参画の
しくみづくり

活動メニューへの参加

- ・ 移動展示
- ・ M祭などのイベント
- ・ 学習交流プログラム
- ・ 参画型の調査、研究
- ・ 地域との協働や関係機関・団体との連携による調査
- ・ さまざまな企画への参画

【取組テーマ2】
連携が進む
環境づくり

試行的な連携事業の実施

- ・ 県内博物館との対話。
- ・ 大学との共同事業やシンポジウムなど連携事業の実施。
- ・ 学校教員との意見交換や実験的なプログラムの実施。

【取組テーマ3】
評価の
しくみづくり

しくみ調査・評価の試行

- ・ 博物館利用者懇談会やモニター会議、利用者アンケートによる調査
- ・ 移動展示や学習交流プログラムなどの事業に対する評価の試行

【取組テーマ4】
魅力的な
博物館づくり

意見収集・広報活動の実施

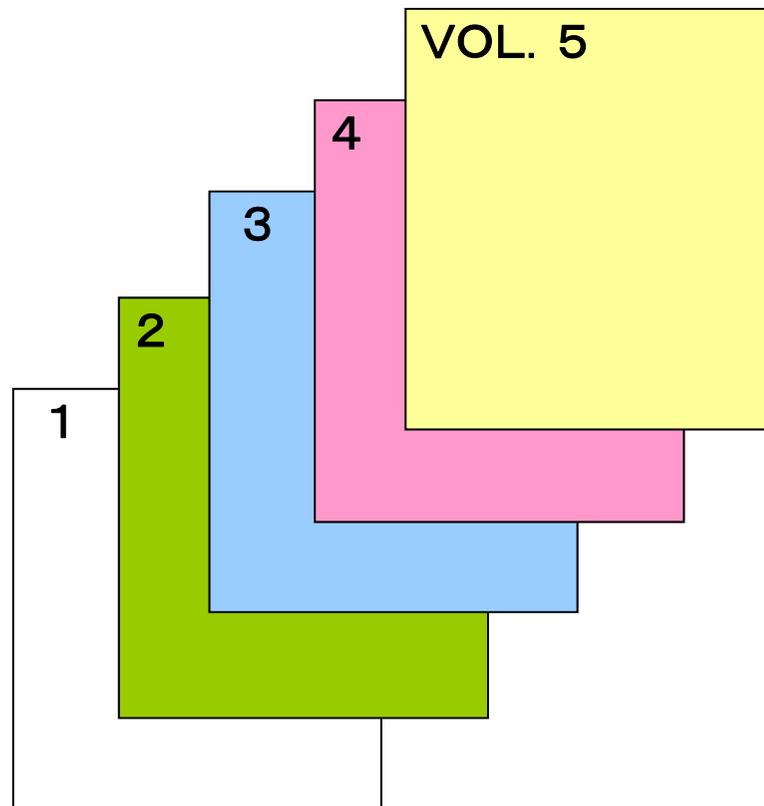
- ・ イベント参加者やホームページ閲覧者などへのアンケート調査。
- ・ 試行的なプログラムや試作展示によるモニター調査。
- ・ 広報宣伝ツールの作成。

当面の取組

新県立博物館の活動と運営の方針(仮称)

○活動と運営の方針(仮称)のとりまとめの考え方

新県立博物館の活動と運営(Vol.~Vol.5)
H21~25年度



新県立博物館の 活動と運営の方 針(仮称)

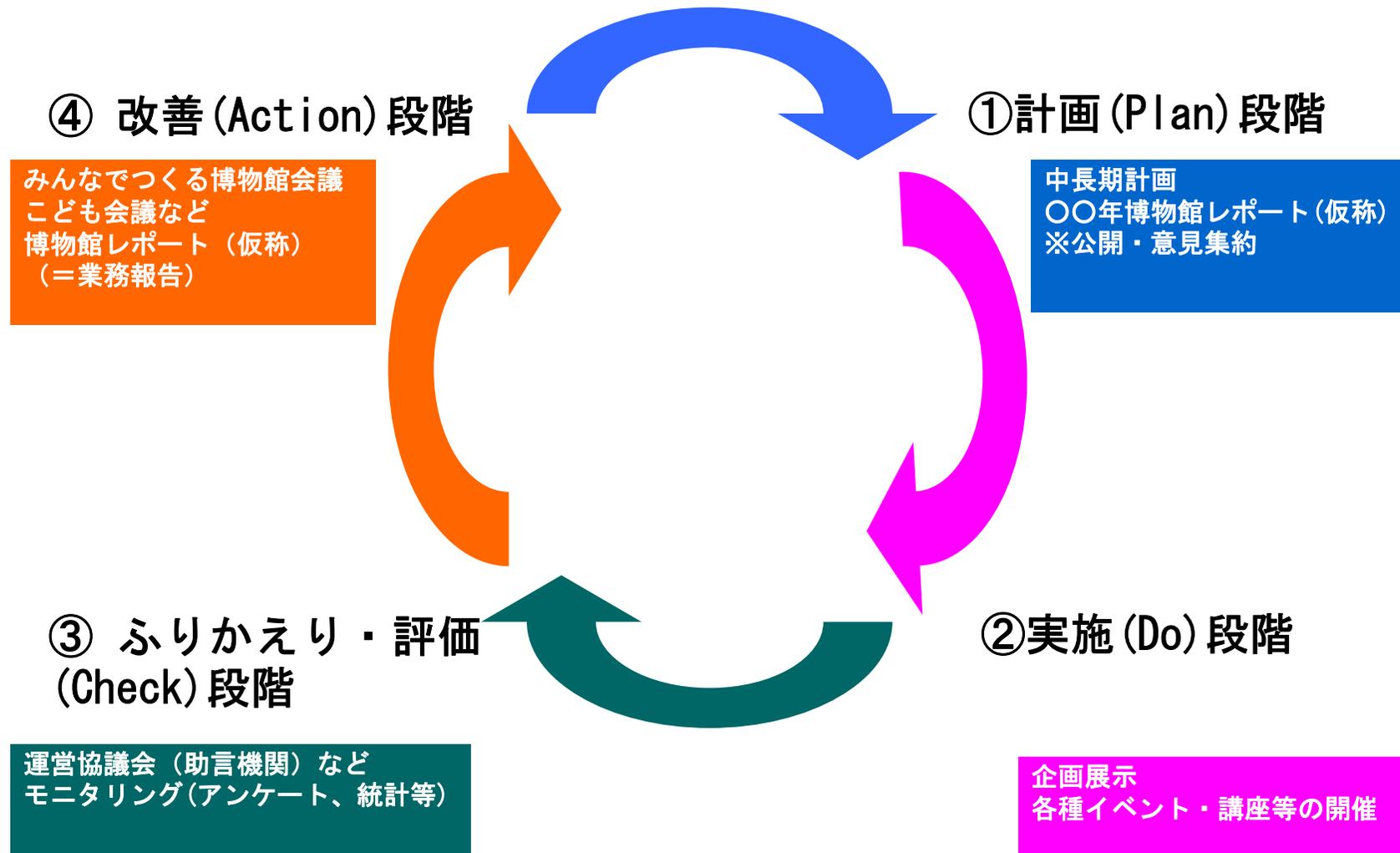
* 活動と運営Vol.1~
5をまとめると完成!

平成25年度末完成

- 活動と運営の基盤となるしくみ
- 運営方針
- 活動方針
(調査研究方針、
収集保存方針、
交流創造展開
方針、展示
方針)

新県立博物館の活動と運営の方針(仮称)

◆活動・運営管理(博物館マネジメント)のしくみ



新県立博物館の計画

建設地	津市上浜6丁目、一身田上津部田地内
用途地域	第1種低層住居専用地域・第2種住居地域
防火地域	指定なし
主要用途	博物館 (自然、歴史・文化の総合博物館＋公文書館機能含む)
主要構造	SRC造、一部RC・一部S造(免震構造)
概 要	敷地面積37,793m ² 延べ面積10,779m ² 3階建(地下1階地上2階) 最高高さ20m

本体工事及び関連工事スケジュール

H25.3.13

工事種別／実施年度	22				23				24				25				26			
	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10			
建築工事 H22.11.30～H25.4.17	[Blue bar spanning from 22.10 to 25.4]																			
電気設備工事 H22.11.30～H25.4.17	[Blue bar spanning from 22.10 to 25.4]																			
給排水設備工事 H22.11.30～H25.4.17	[Blue bar spanning from 22.10 to 25.4]																			
空調設備工事 H22.11.30～H25.4.17	[Blue bar spanning from 22.10 to 25.4]																			
太陽光パネル(100kw追加)工事 H24.7.18～H25.3.15	[Blue bar spanning from 24.7 to 25.3]																			
ラック等購入設置工事 H24.3.26～H25.3.26	[Blue bar spanning from 24.3 to 25.3]																			
外構工事 H24.3.末～H26.3.末	[Red bar spanning from 24.3 to 26.3]																			
1 外構(土木その1)工事 H24.8.21～H25.5.17	[Red bar spanning from 24.8 to 25.5]																			
1 公園拡張(土木その2)工事 H24.9.20～H25.3.18	[Red bar spanning from 24.9 to 25.3]																			
2 造園工事 H24.3.末～H26.3(予)	[Red bar spanning from 24.3 to 26.3]																			
3 舗装工事 H25年度工事	[Red bar spanning from 25.10 to 26.3]																			
4 屋外照明設備工事 H25年度工事	[Red bar spanning from 25.4 to 26.3]																			
展示製作及び施工 H23.10.18～H26.3.20	[Purple bar spanning from 23.10 to 26.3]																			
情報システム構築・工事 H24.6～H26.3(予定)	[Purple bar spanning from 24.6 to 26.3]																			
連絡ブリッジ設置工事 H24年3.末～H25.12.末	[Green bar spanning from 24.3 to 25.12]																			

建物完成

開館予定

新県立博物館の設計・施工(建築関連)

建築設計:株式会社 日本設計

展示設計:株式会社トータルメディア開発研究所

建築工事:鹿島・鉄建・生川特定建設工事共同企業体

電気設備工事:東光・鈴鹿テクト・林特定建設工事共同企業体

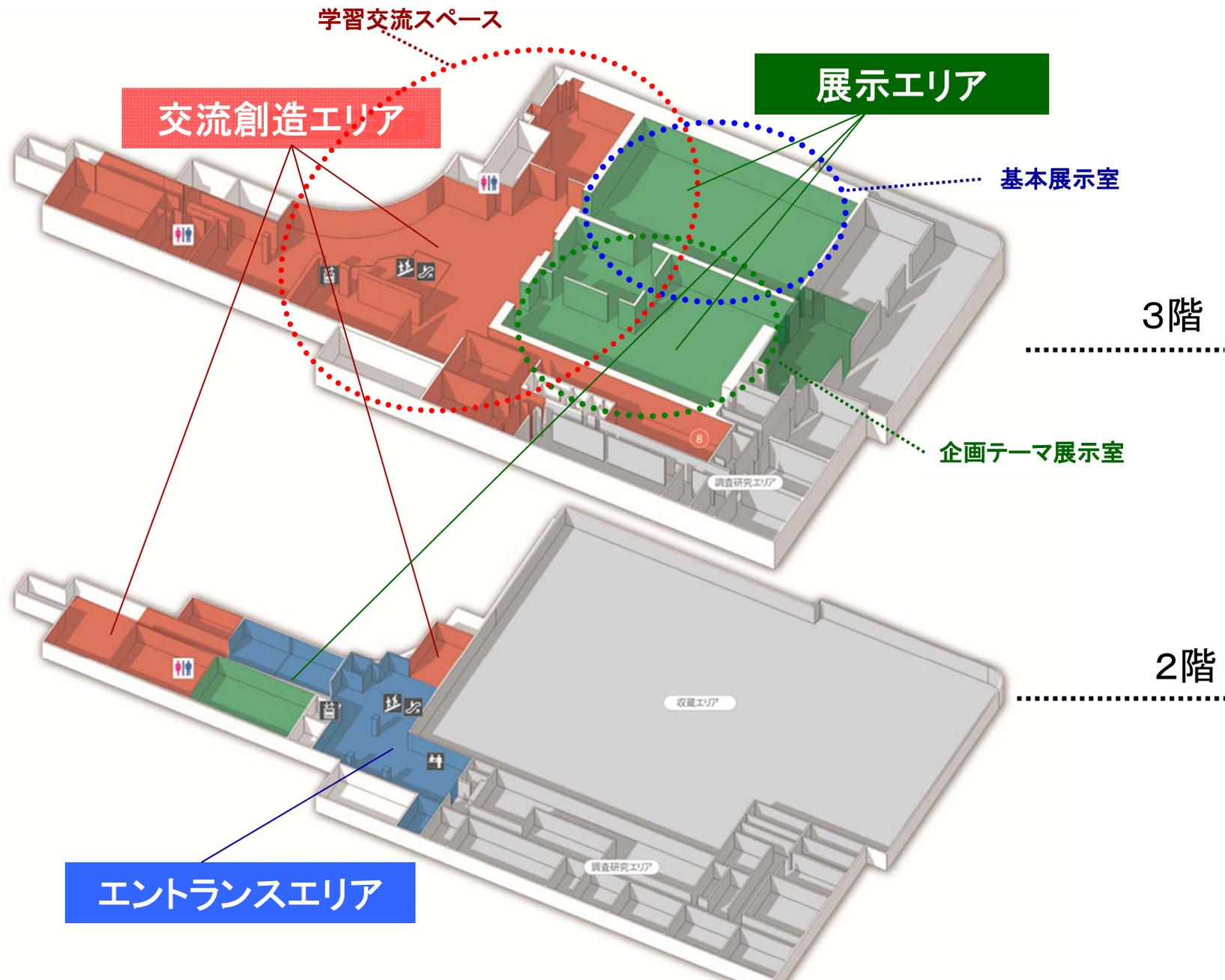
空調設備工事:三機・杉山・山信特定建設工事共同企業体

給排水衛生設備工事:岡田・ダイワ・三重水熱特定建設工事共同企業体

新県立博物館整備イメージ



新県立博物館平面計画の構成



◆ 学習交流スペース



◆基本展示室

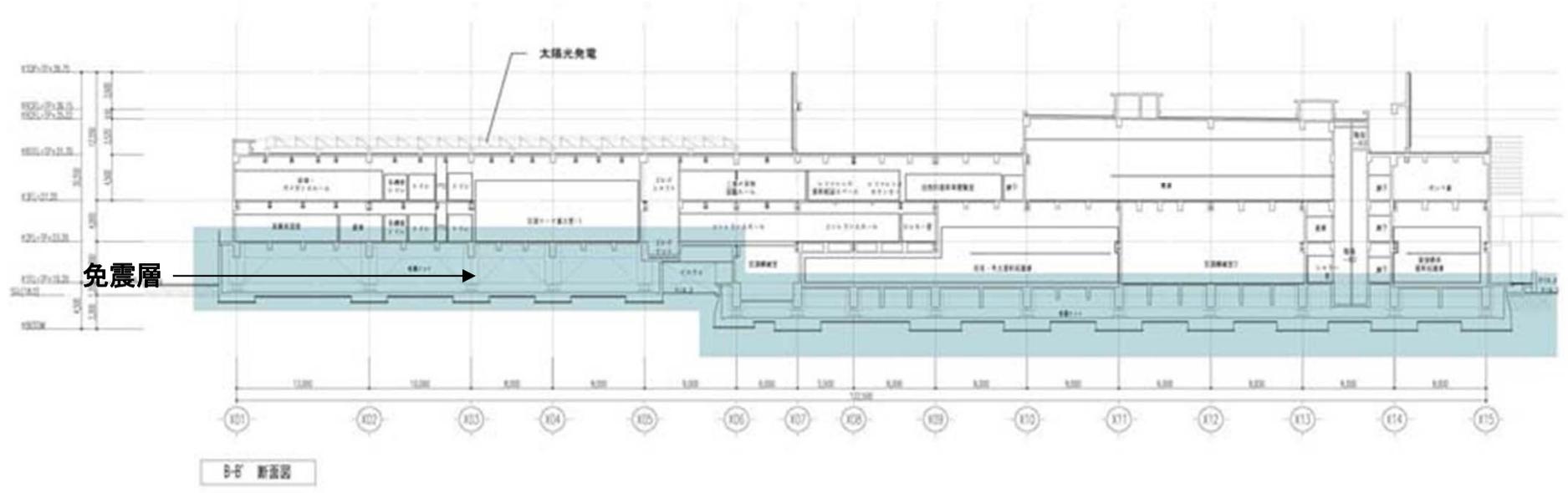
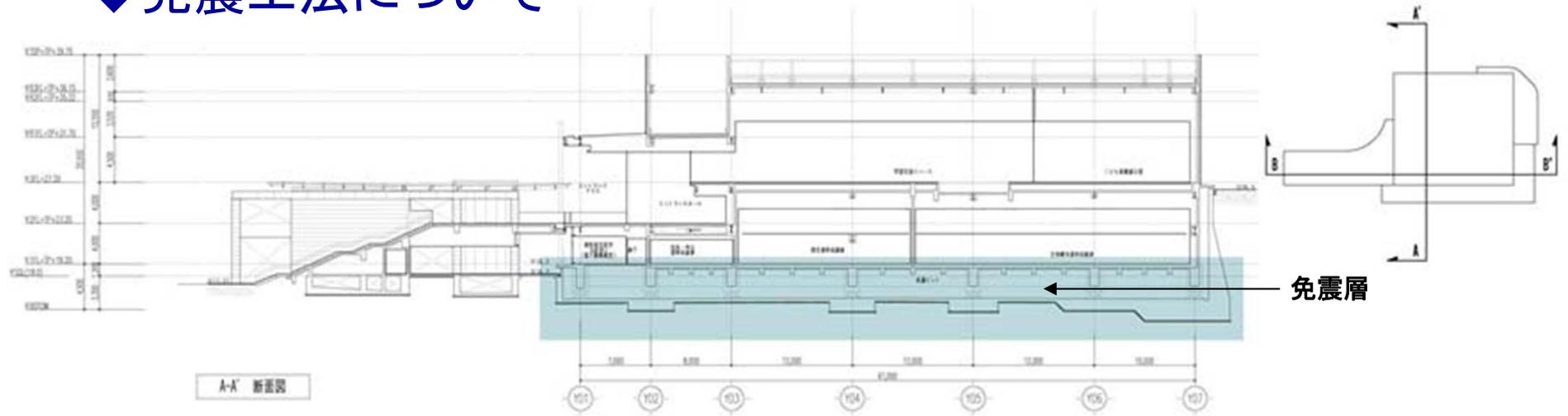


◆企画テーマ展示室

◆企画テーマ展示室



◆免震工法について



◆免震工法について

～免震構造(鉛プラグ入積層ゴム支承)～



環境への配慮について

太陽光発電

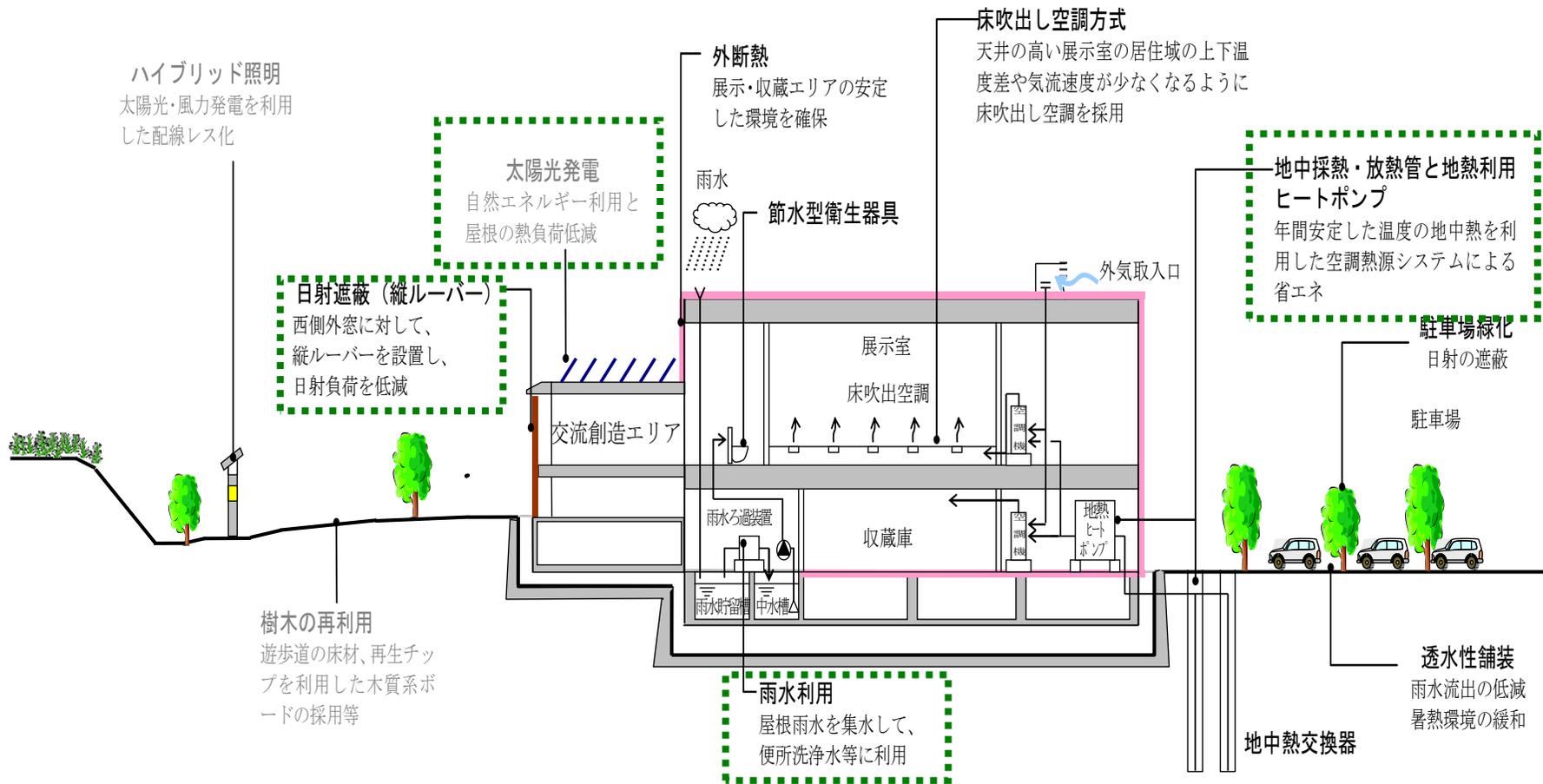
地中熱利用空調システム

雨水利用及び蓄熱

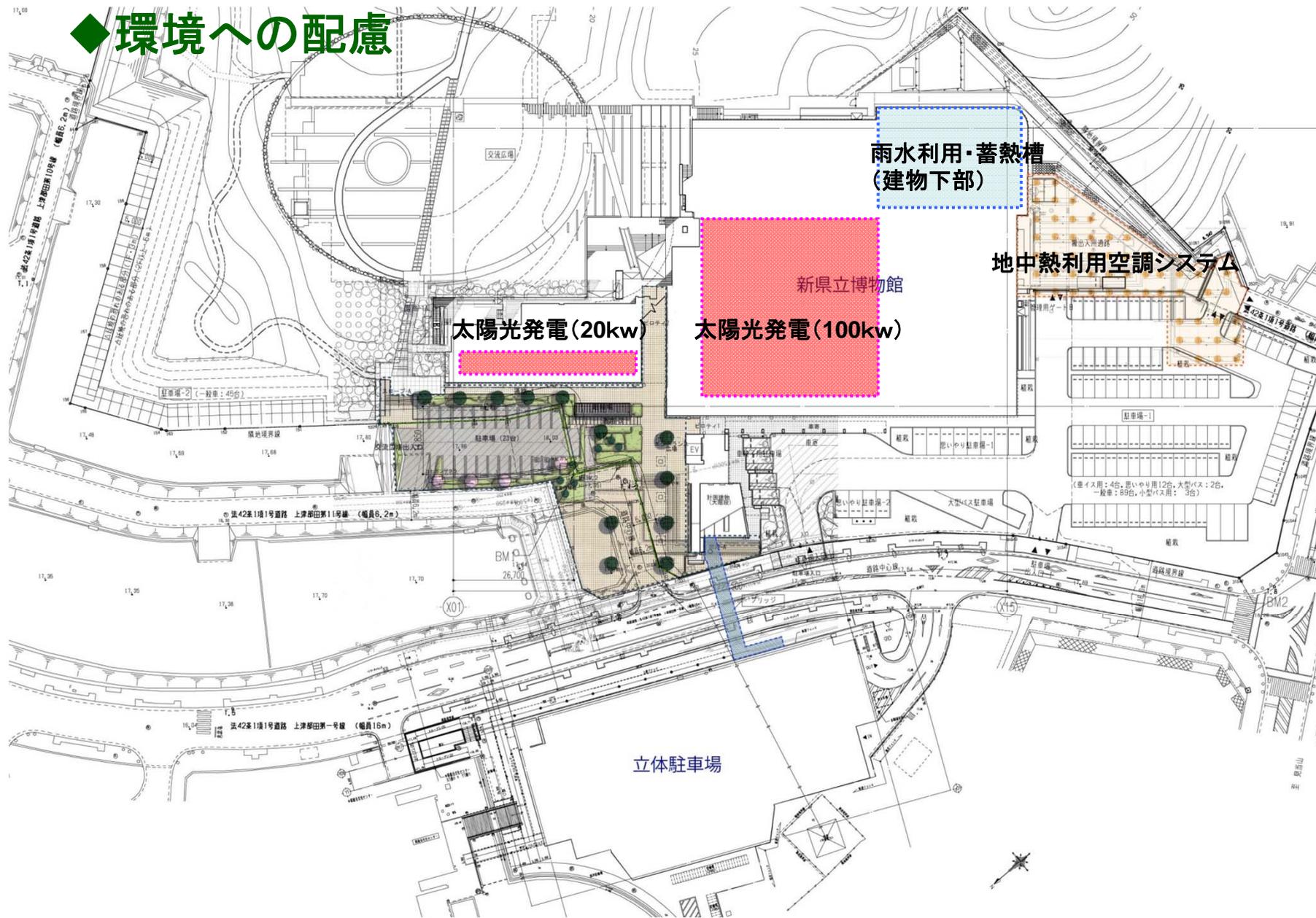
日射遮蔽(ルーバー)

里山の保存・再生

◆環境への配慮



◆環境への配慮



◆太陽光発電設備

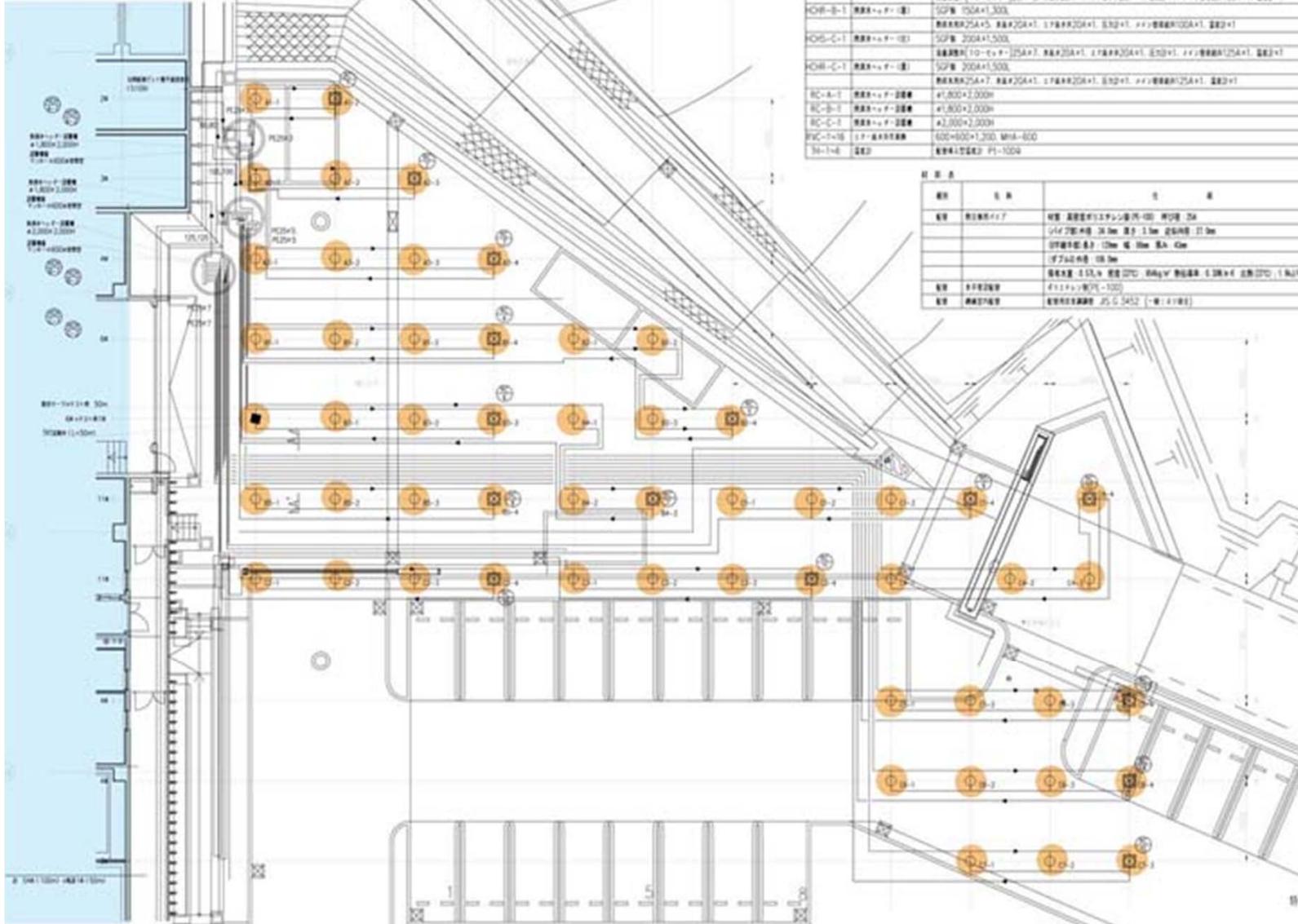


◆太陽光発電設備



◆地中熱利用空調システム

○	計画図
◎	設備配置図
○	管線図
○	配管配置図
○	ポンプ配置図
○	電線配置図
○	設備配置図
○	配管配置図

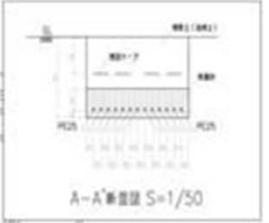
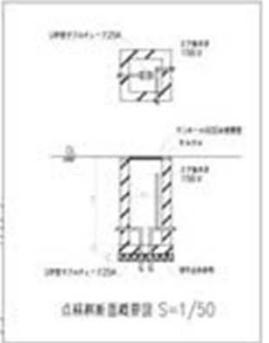


機台表

区分	機台番号	仕様	数量	設置場所	備注
KOH-B-1	機台番号P-101	50㎡ 125A+700L	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
	機台番号P-102	機台番号(10-c-p-125A+7) 80A+20A+1, 50㎡+1, p-p(機台番号)125A+1, 50㎡+1	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
	機台番号P-103	50㎡ 125A+700L	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
KOH-B-2	機台番号P-104	機台番号(10-c-p-125A+7) 80A+20A+1, 50㎡+1, p-p(機台番号)125A+1, 50㎡+1	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
	機台番号P-105	50㎡ 105A+1,300L	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
KOH-C-1	機台番号P-106	機台番号(10-c-p-125A+7) 80A+20A+1, 50㎡+1, p-p(機台番号)125A+1, 50㎡+1	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
	機台番号P-107	50㎡ 200A+1,500L	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
KOH-C-2	機台番号P-108	機台番号(10-c-p-125A+7) 80A+20A+1, 50㎡+1, p-p(機台番号)125A+1, 50㎡+1	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
	機台番号P-109	50㎡ 200A+1,500L	1	外廊下	機台A設置(7.5A)
RC-A-1	機台番号P-110	機台番号P-110機台	1	地下	
	機台番号P-111	機台番号P-111機台	1	地下	
RC-B-1	機台番号P-112	機台番号P-112機台	1	地下	
	機台番号P-113	機台番号P-113機台	1	地下	
RC-C-1	機台番号P-114	機台番号P-114機台	1	地下	
	機台番号P-115	機台番号P-115機台	1	地下	
RC-D-1	機台番号P-116	機台番号P-116機台	1	地下	
	機台番号P-117	機台番号P-117機台	1	地下	
RC-E-1	機台番号P-118	機台番号P-118機台	1	地下	
	機台番号P-119	機台番号P-119機台	1	地下	
RC-F-1	機台番号P-120	機台番号P-120機台	1	地下	
	機台番号P-121	機台番号P-121機台	1	地下	

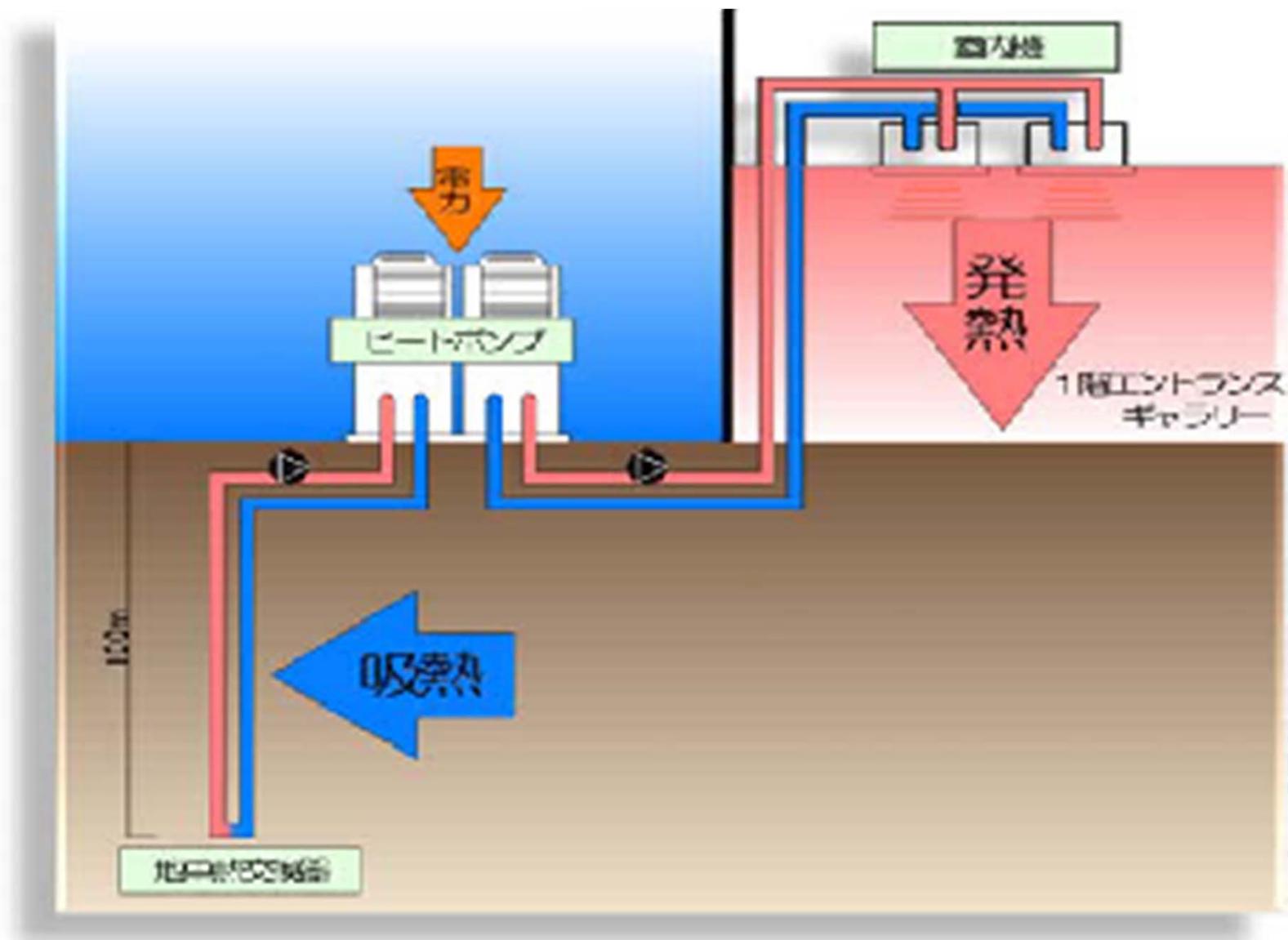
仕様表

種類	名称	仕様	数量	設置場所	備注
管線	配管	規格: 高級銅管(シールド)φ100 厚1.0mm φ147(2層)厚: 3.0mm 厚: 3.0mm 径400mm 厚: 2.0mm 防振緩衝層: φ100 厚: 10mm 厚: 4mm φ72(2層)厚: 10mm	548	建物内/外	L=1020m (18A×12巻)
機台	ポンプ	機台番号: RC-A~F 容量: 0.5kW 圧力: 220kPa 騒音: 6.0dB(A) 寸法: 220×180×40	18	地下	
機台	制御装置	機台番号: RC-A~F 容量: 0.5kW 圧力: 220kPa 騒音: 6.0dB(A) 寸法: 220×180×40	18	建物内/外	



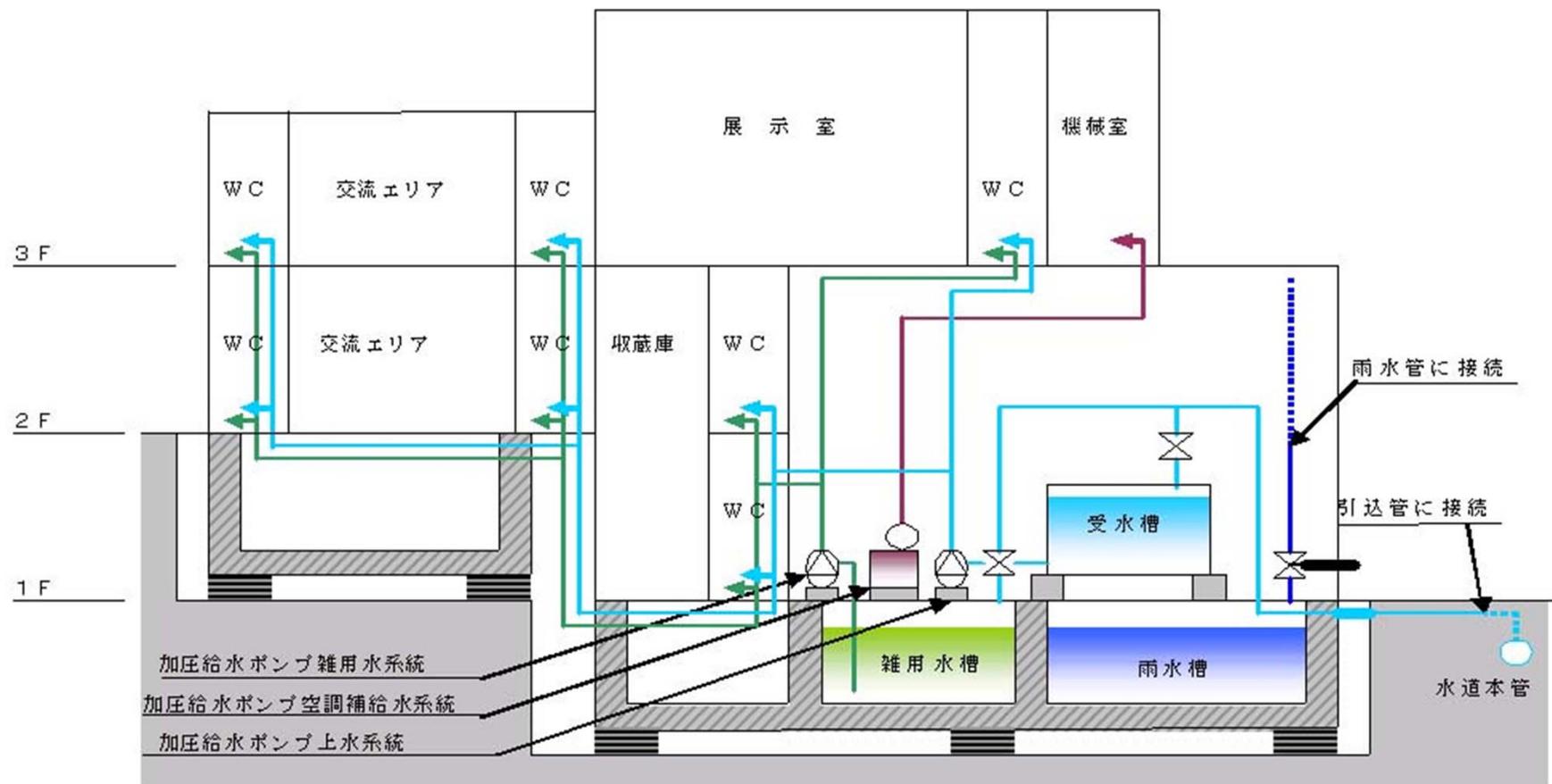
特記: 熱交換器の長さ (L=100m) のうち1基を用いて、
サーマルストレージを試験を本工事に実施する。

◆地中熱利用空調システム

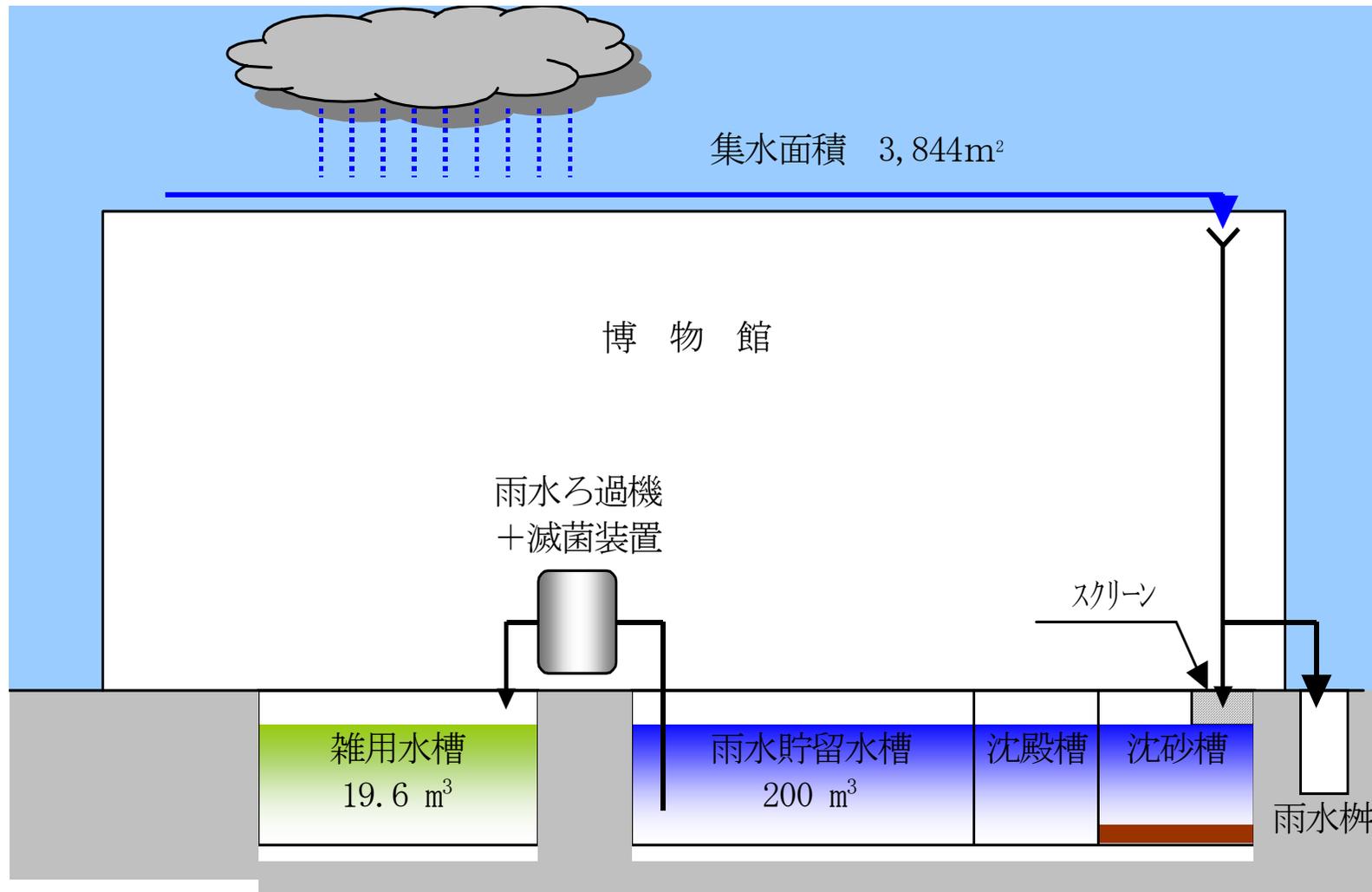


～暖房時のしくみ～

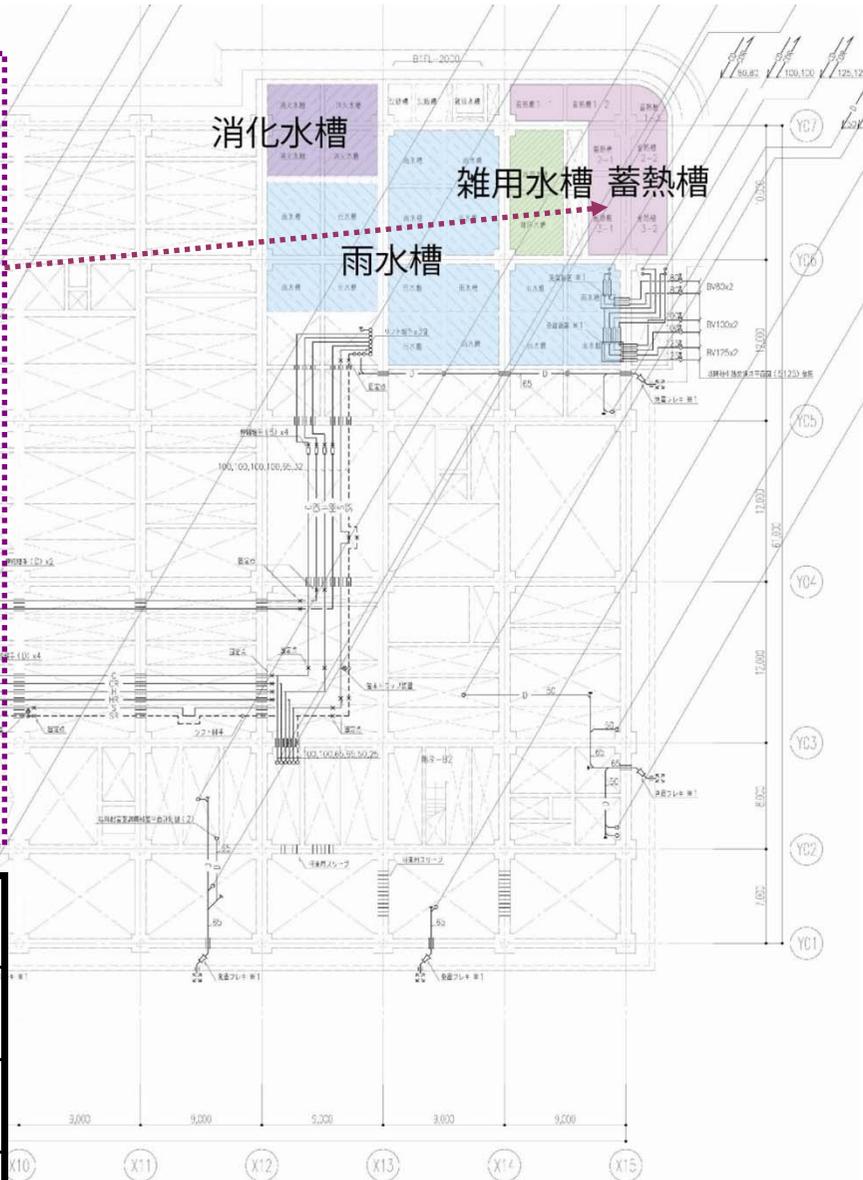
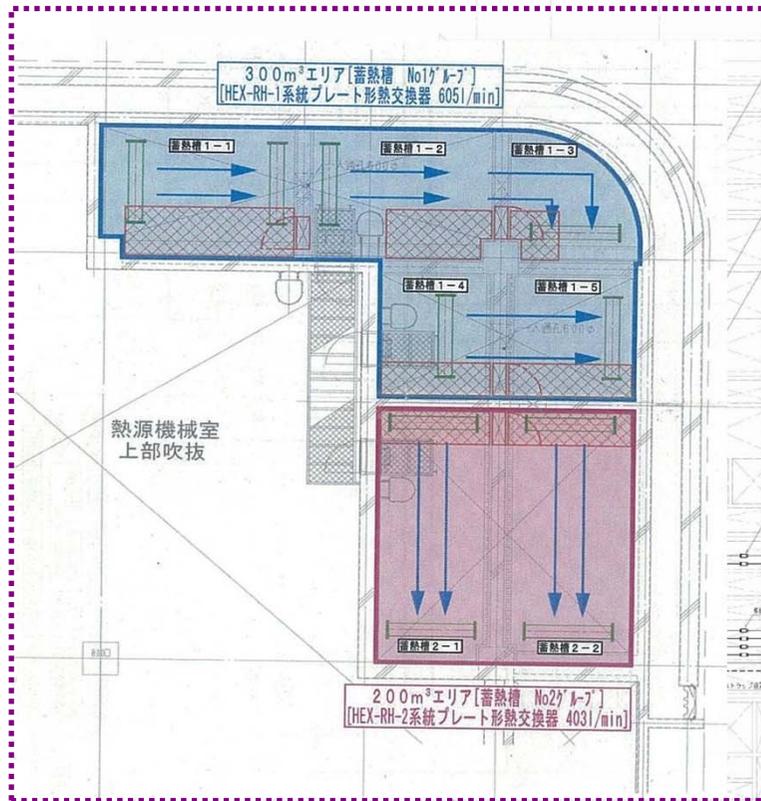
◆雨水利用



◆ 雨水利用

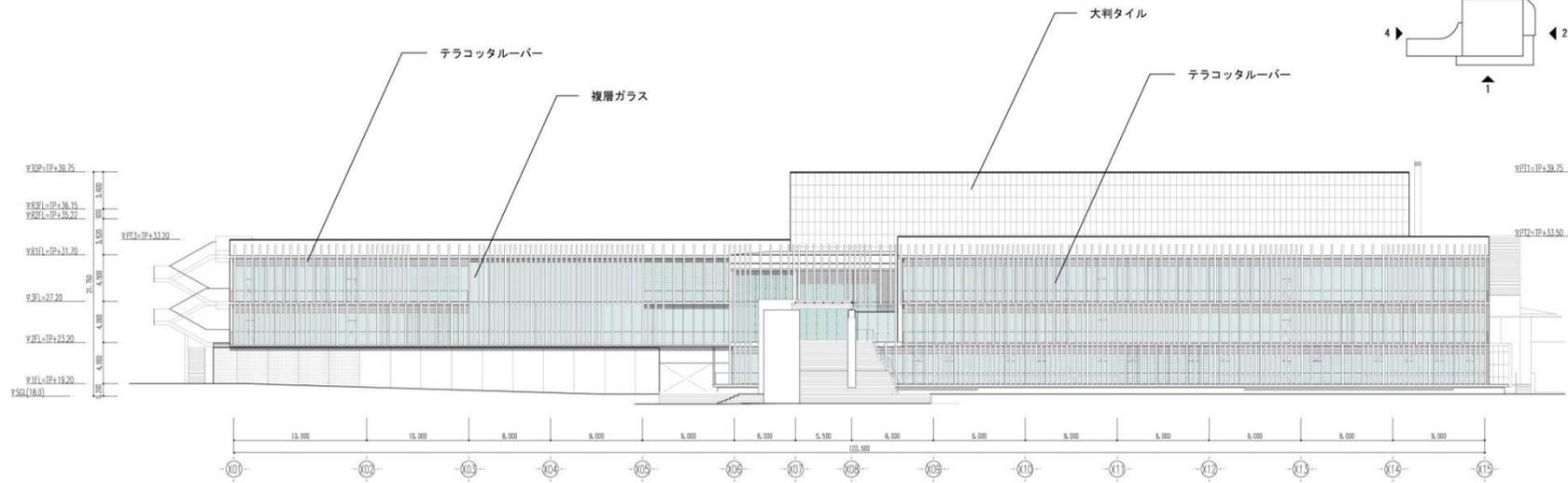


蓄熱について

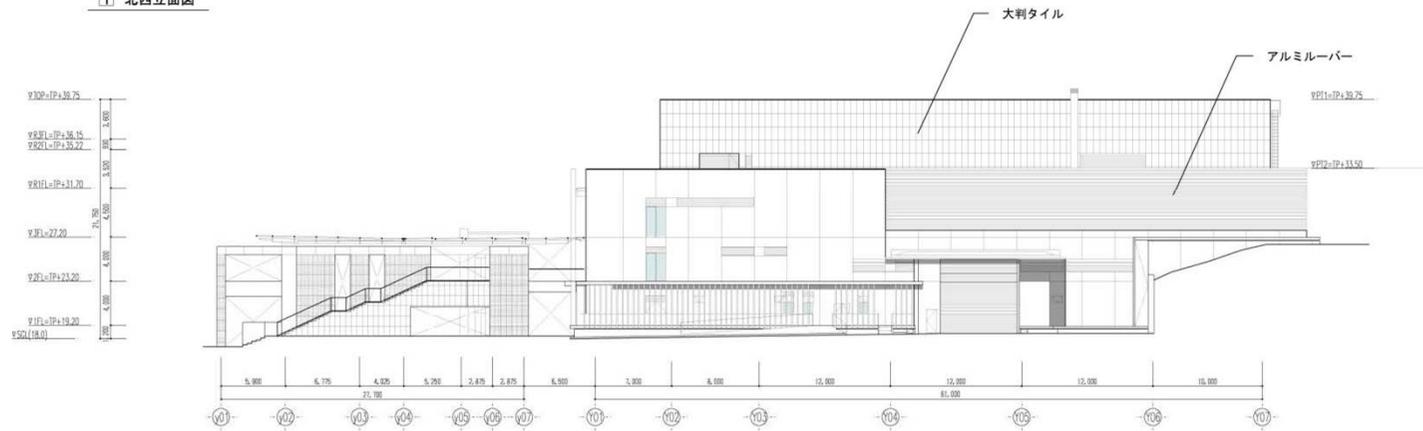


	300m ² (蓄熱槽NO. 1グループ)	200m ² (蓄熱槽NO. 2グループ)
夏季(冷房)	冷水蓄熱6°C (6-13°C)	冷水蓄熱6°C (6-13°C)
冬季(暖房)	温水蓄熱46°C (46-39°C)	温水蓄熱46°C (46-39°C)
中間期	冷水蓄熱6°C (6-13°C)	温水蓄熱46°C (46-39°C)

◆日射遮蔽(ルーバー)



1 北西立面図



2 南西立面図

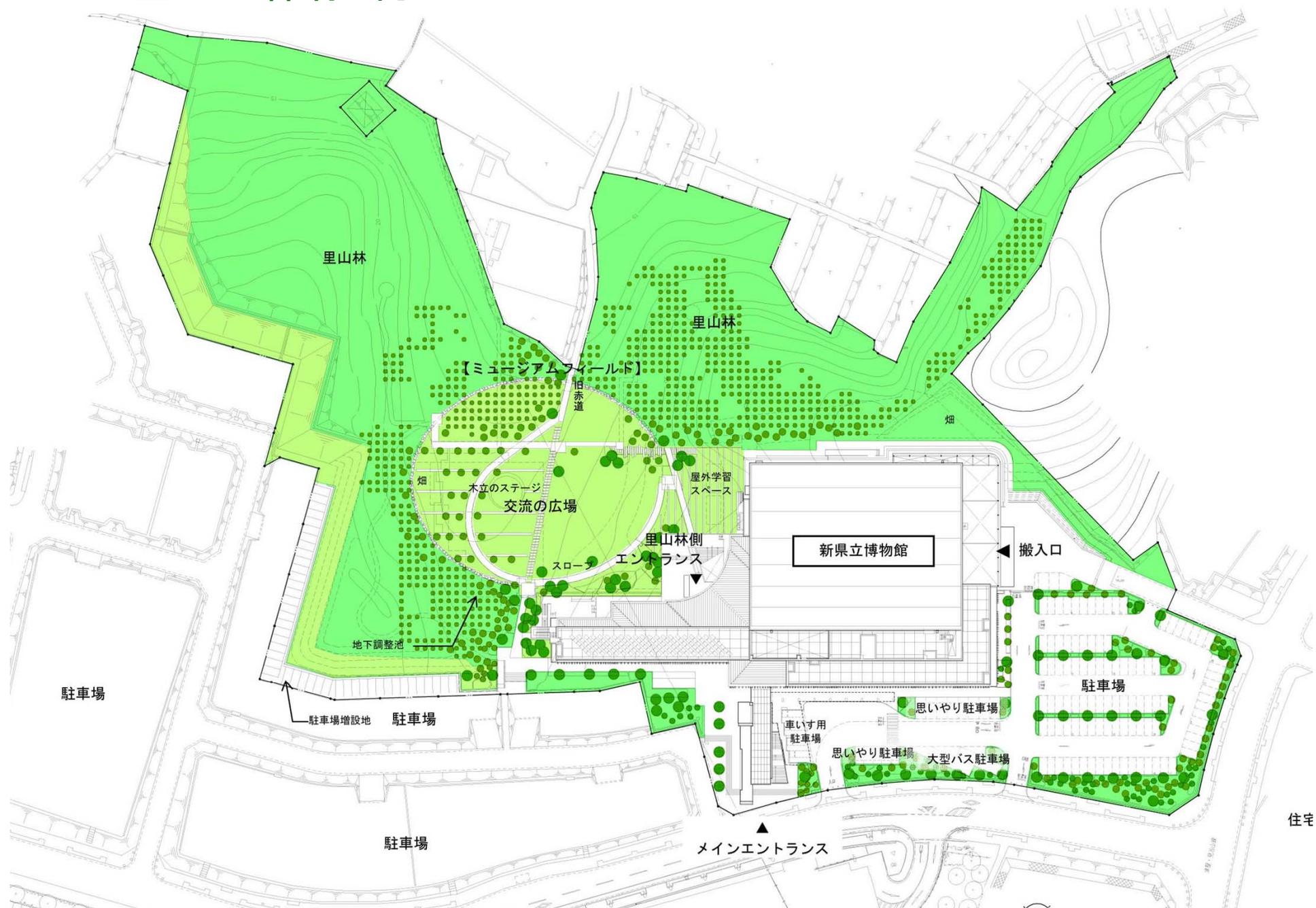
◆日射遮蔽(ルーバー)



日射熱負荷を抑制し、
デザインの特徴となるとともに、
リズムを与えるランダムな配置の
縦ルーバー
:テラコッタルーバー



◆里山の保存・再生

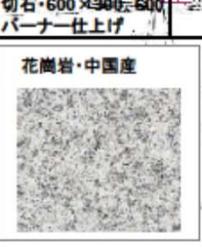
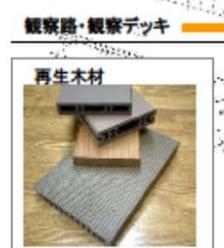
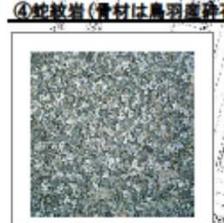
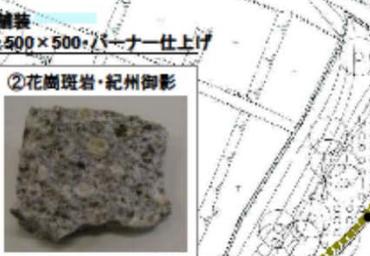
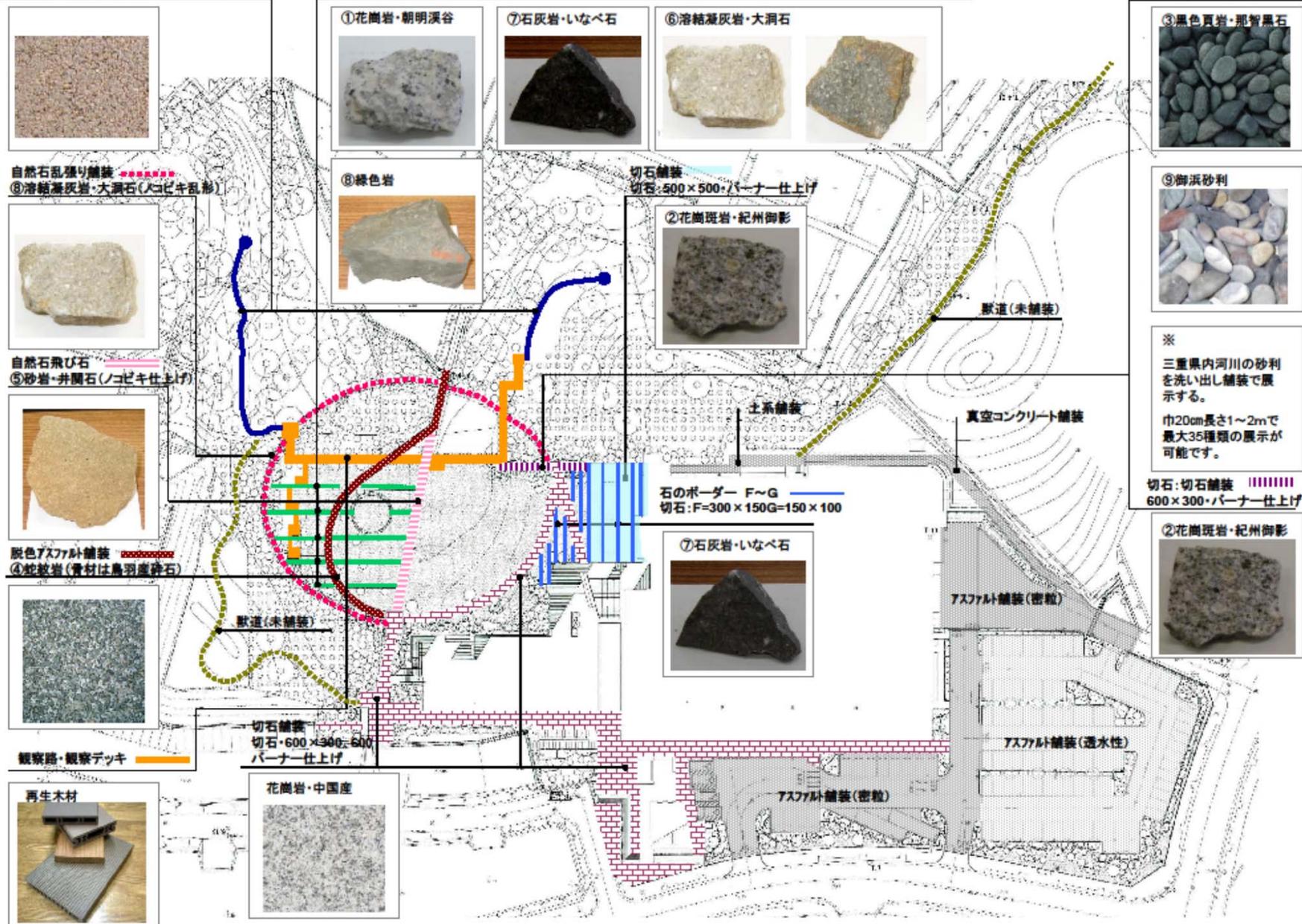


◆里山の保存・再生 ~交流の広場整備~

土系舗装
現場発生土砂にセメント系固結材混合

割栗石(雑割)φ150~φ300

目地:洗い出し舗装
礫石:φ6mm~φ9mm 砂利

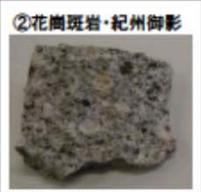


※
三重県内河川の砂利を洗い出し舗装で展示する。
巾20cm長さ1~2mで最大35種類の展示が可能です。

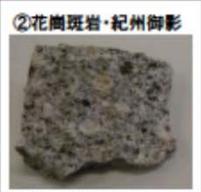
切石:切石舗装
600×300・バーナー仕上げ

石のボーダー F~G
切石:F=300×150G=150×100

切石舗装
切石:600×300・600
バーナー仕上げ



切石舗装
切石:600×300・600
バーナー仕上げ





平成26年春開館、皆さんをお待ちしております！